**『啐啄』～　よく頑張ってくれました**

**文化祭・体育大会　～　10月号**

**瀬田中学校　校長　今井　弘樹**

**☆彡　 文化祭、体育大会には、大変多くの保護者、地域の関係者の方々にお越しいただきまして、本当にありがとうございました。両日で約900近くの方々にお越しいただき、事前に用意した席にお座りいただけないほどの盛況で、申し訳なかったという思いとともに感謝の思いでいっぱいでした。**

**☆彡　　「文化」とはラテン語の「耕す」という意味を語源にしていることから、文化祭は「瀬田中生の耕された心が芽吹いた姿」と言い換えることができるかもしれません。「文化」は、そもそも「一人」で創り上げられるものではなく 「その集団や、その集団のもつ歴史」 によって創られるものと思います。文化祭も「スポーツ文化」が体現された「体育大会」もまた、生徒たちはもちろん、生徒たちを支え、育む側の大人、教職員が一緒になって創り上げた産物と言うことができます。今後とも皆さん引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。**

**☆彡　　一方、子どもたちは、生徒会執行部の反省会で、「できるかどうか不安だった」「初めは邪魔くさいなと思ったけど、やり遂げた今、とてもよかったと思っている」などの感想を述べていました。そして、多くの生徒たちが、「去年の文化祭を超えることができたと思う」と発言し、執行部全員が学年を超えた一体感で、文化祭成功の達成感と喜び、感謝の気持ちを分かち合っていました。こうした生徒会の伝統も是非、後期の生徒会の中心となる1、2年生が引き継いでいってほしいと願っています。**

**☆彡　　ところで、2学期の大きな行事である文化祭・体育大会前に、長かった夏休みを終え生徒会環境緑化委員会が制作してくれた 『ひまわり成長日記』 と題した生徒昇降口、教室の掲示コーナーにふと目が留まりました。そこには、『・・・・「良い言葉」をかけ続けたひまわりよりも 、「悪い言葉」をかけ続けたひまわりの方は 「生長が遅い」 という観察結果・・・・』 という言葉とともにひまわりの写真が紹介されていて、最後に、「・・・花にも心があると思いました」 と生徒の感想が書かれていました。良い言葉の音は、生育に良い影響を与えると聞きます。私はこの結果から、人に対しても良い言葉は良い作用があると考えてよいのか？良い言葉＝生育に良い音質を持つということなのか？など、いろいろと考えさせられました。**

**☆彡　生徒たちが、自分たちの****”言葉”に注目してくれていることは、大切なことだと思います。コミュニケーションにとって”言葉”は欠かせないツールです。生徒同士、家族の方と生徒、先生、職員と生徒、地域の方々と生徒、・・・・　”あいさつ“ はもちろんですが、個々の生徒たちに、どんな言葉かけをしょうかと、忙しい中でも、いつも考えておられる先生方がいます。日常生活や文化祭や体育大会などのいろいろな行事を通して、生徒たちの頑張った姿や過程をしっかりと見つめて、どんな言葉をかけるのがいいのか悩むこともありますが、私たち大人の”言葉”が生徒たちの成長の手助けになるといいなと思っています。**